

- VADE MECVM.
- Exhibition + Seminar 2011

# enflourage

深紅色に染まる  
 ピロードの輝き  
 気高い立ち姿も  
 何もない  
 空も海も  
 永く泣き続けた  
 忘れない  
 甘いバラの香り  
 香気だけが今でも漂う



- 4/28(木)～7/3(日)
- VADE MECVM. Showroom #2 Gallery Shop + Cafe
- 美しさの象徴であるバラに強い関心を抱くのは その美しさゆえ  
 または人工的に作られたその美しさが 人が追い求める美しさへの願望によるものであるから  
 本来の美とは何か - 「VADE MECVM.とバラの関わり」より

## 「大人の学び」 ～アンフルラージュの世界をひもとく講座

アンフルラージュとは 18世紀末頃から 南フランス グラスで行われていた精油(エッセンシャルオイル)の抽出方法の一つで 花の香り成分を油脂に吸着させるため「油脂吸着法」や「冷浸法」とも呼ばれています  
 精油は植物から抽出できる香り成分の凝縮物のようなもので「水蒸気蒸留法」や「圧搾法」による抽出が一般的ですが 熱や圧力に対し不安定な植物にはアンフルラージュが有効な方法でした ただ 非常に手間がかかる上 技術が発達し 別の方法が使えるようになったため 今ではほとんど行われていません  
 この講座ではアンフルラージュをつうじて 香りにまつわるお話と バラの練り香水作りを気軽に体験していただけます

講座日	5/15(日)* 5/22(日) 5/29(日)* 6/5(日) 6/12(日)* 6/26(日)*
時間	10.30～12.30
人数	16名/各回
参加費	3,500円 (1ドリンク/バラのポマードと石鹸付き)
講師	鞍田 愛希子 Atelier Michaux 主宰
会場	VADE MECVM. Showroom #2 Gallery Shop + Cafe
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香りと感情の不思議な関係</li> <li>・色によって香りは変わる?</li> <li>・香りは生きている?</li> <li>・アンフルラージュの歴史 仕組み</li> <li>・アンフルラージュ実演 体験</li> <li>・国ごとに違う香り文化</li> <li>・バラの香り その種類と効能</li> <li>・嗅覚と記憶 脳の関係</li> <li>・香りと文学 文献 映画</li> <li>・ティータイム 質疑応答</li> </ul>
*特別ゲスト	<p>5/15(日)          対談「今 自然から学ぶこと」          片桐 功敦(花道みささぎ流 主水書房 主宰) × 鞍田 愛希子</p> <p>5/29(日)          特別講座 「香りにまつわる文学を読み下すレッスン」          鞍田 崇(哲学者 総合地球環境学研究所)</p> <p>6/12(日)          対談「バラとのコミュニケーション術」          國枝 健一(ローズファームケイジ) × 鞍田 愛希子</p> <p>6/26(日)          特別講座「香りを好きになる10のお話」          林 孝洋(近畿大学農学部教授)</p>
お申し込み	<p>ファックス 075-708-2069 / メール am@atelier-michaux.com</p> <p>担当:クラタ(Atelier Michaux)</p> <p>代表者のお名前 人数 講座日 ご連絡先(電話 または メール)を明記して下さい</p> <p>*予約制につき定員になり次第 締め切らせていただきます</p>
企画	Atelier Michaux <a href="http://atelier-michaux.com/">http://atelier-michaux.com/</a>
協力	<p>バラ 奥田 容彦(おくだばらえん) <a href="http://okudabaraen.blog.so-net.ne.jp/">http://okudabaraen.blog.so-net.ne.jp/</a></p> <p>國枝 健一(ローズファームケイジ) <a href="http://www.rosefarm-keiji.net/">http://www.rosefarm-keiji.net/</a></p>
イラスト	和出 伸一(画描き) <a href="http://wadeshin.com/">http://wadeshin.com/</a>